
目次

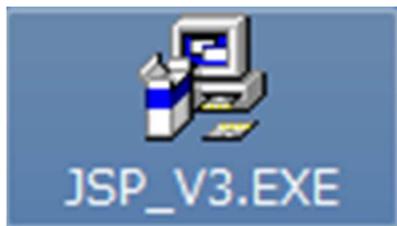
1. セットアップ … 2
 - 1-1. プログラムの新規インストール／再インストール … 2
 - 1-2. プログラムのアンインストール … 5
 - 1-3. 画面解像度の変更方法 … 5
 2. 入力画面の説明 … 6
 3. プログラムの起動 … 7
 4. 患者情報の登録 … 8
 5. 検査データの入力 … 9
 - 5-1. 歯の状態の設定方法 … 9
 - 5-2. 検査値入力順序 … 9
 - 5-3. 検査値入力方法 … 10
 - 5-4. キーボードを使用時の入力操作 … 12
 - 5-5. 入力データを保存する … 13
 - 5-6. 検査データ追加 … 14
 - 5-7. 表示データ削除 … 14
 - 5-8. 1患者削除 … 14
 - 5-9. プログラムの終了 … 15
 6. チャート表示と印刷 … 16
 - 6-1. チャート表示画面の構成 … 16
 - 6-2. チャートの見方 … 17
 - 6-3. チャート印刷 … 17
 - 6-4. 印刷見本 … 18
 7. ファイル … 20
 - 7-1. 新規作成 … 20
 - 7-2. 開く … 21
 - 7-3. 名前を付けて保存 … 21
 8. ツール … 22
 - 8-1. 検査データファイルのバックアップ … 22
 - 8-2. 検査データファイルの復元 … 22
 9. 旧バージョンからのデータ移行 … 23
 10. データ不備時のメッセージ … 24
-

1. セットアップ

1-1. プログラムの新規インストール／再インストール

1-1-1. インストーラ起動

ダウンロードしたファイル（JSP_V3.EXE）を右クリックするとインストール画面が表示されます。



1-1-2. インストール開始の確認



「はい」をクリックします。

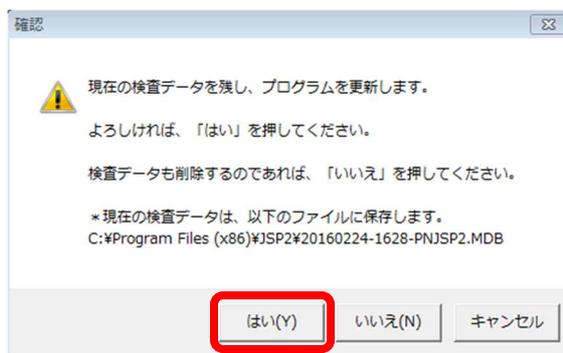
- ・初めてJSPチャートをインストールする場合は、1-1-5 へ。（新規）
- ・JSPチャート（Ver. 2, Ver. 2.5, Ver. 3）をインストール済みの場合は、次へ。（再）

1-1-3. インストール済みプログラムの削除と再インストールの確認



「はい」をクリックします。

1-1-4. 検査データの継続使用／新規作成の確認



「はい」・・・既存の検査データをそのまま継続使用する。

「いいえ」・・・検査データを新規に作成する。

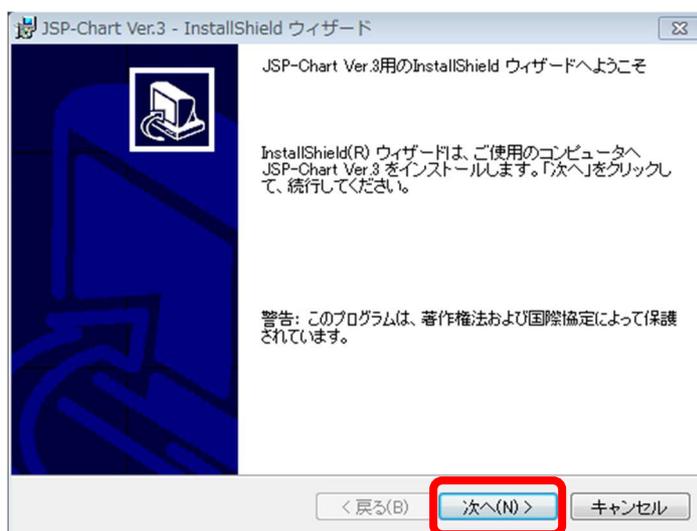
※通常は、「はい」をクリックします。

※「はい」「いいえ」の場合、現在の検査データは、以下のファイル名で保存されます。

YYYYMMDD-HHMM-PNJSP2.MDB（YYYYMMDD-HHMM：保存時の年月日-時分）

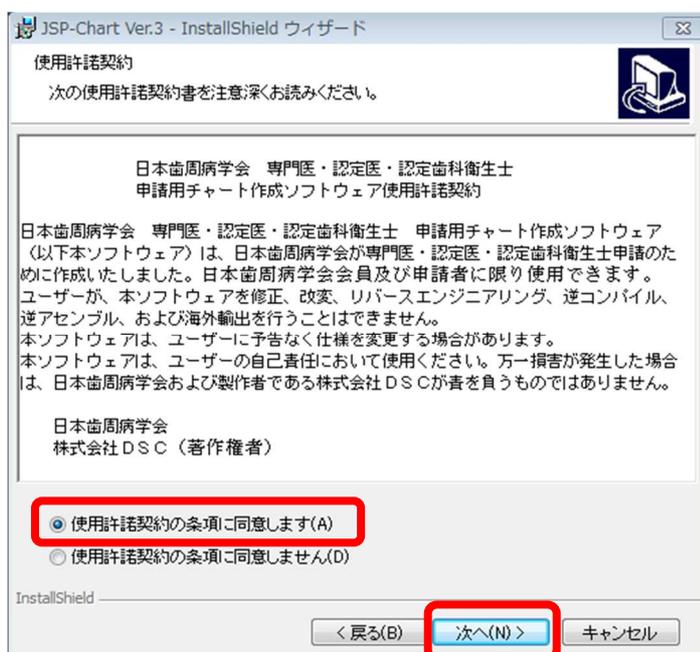
プログラムのアンインストールが実行され、次へ進みます。

1-1-5. インストールウィザード開始



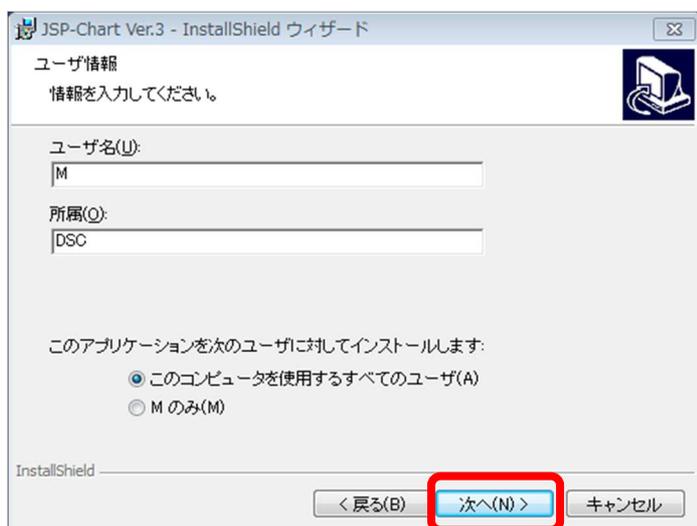
「次へ」をクリックします。

1-1-6. 使用許諾契約



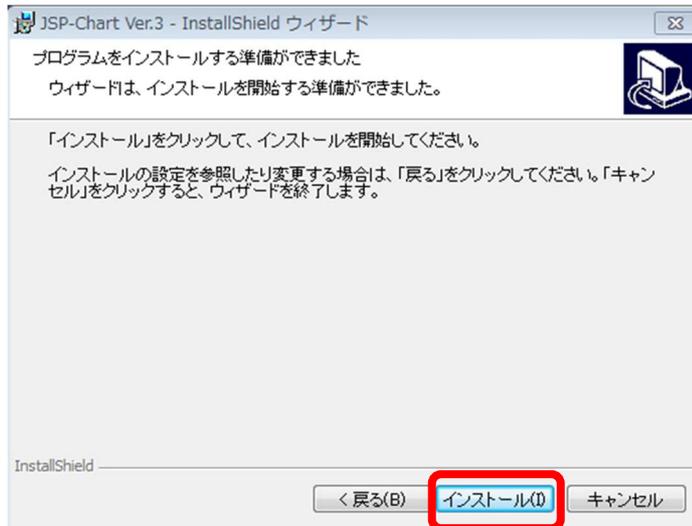
「同意します」を選択して、「次へ」をクリックします。

1-1-7. ユーザ情報



「次へ」をクリックします。

1-1-8. インストール準備



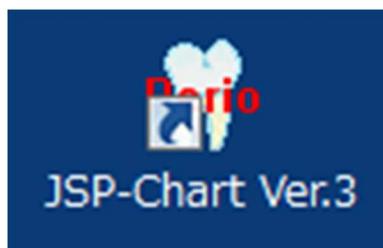
「インストール」をクリックします。

1-1-9. インストール完了



「完了」をクリックします。

1-1-10. アイコン



デスクトップにアイコンが表示されます。

※アイコンが表示されなかった場合の対応

以下のファイルを右クリックし、「送る」→「デスクトップ(ショートカットを作成)」を選択すると、アイコンが作成されます。

- ・ 32ビット版 c:\Program Files\JSP2\PNJSP2.exe
- ・ 64ビット版 c:\Program Files(x86)\JSP2\PNJSP2.exe

1-2. プログラムのアンインストール

1-2-1. 検査データの保存

以下の検査データを別の場所にコピーして保存してください。

- ・ 32ビット版 c:\Program Files\JSP2\PNJSP2.MDB
- ・ 64ビット版 c:\Program Files(x86)\JSP2\PNJSP2.MDB

1-2-2. アンインストール

「スタート」-「コントロールパネル」-「プログラムと機能」を選択します。



「JSP-Chart Ver.2.5」を選択し、「アンインストール」をクリックします。



「はい」をクリックします。

1-3. 画面の解像度の変更方法

本プログラムは、画面解像度 1024 x 768 以上が必要です。

1024 x 768 より小さい場合は、デスクトップ画面上を右クリックして、「画面の解像度」を選択し、解像度を大きくしてください。



2. 入力画面の説明

- ① 本ソフトウェアのバージョンです。
- ② 患者番号 1から30まで30人分登録可能です。99にサンプルデータがあります。
- ③ 検査データ 登録された検査の検査日とステージが表示されます。
- ④ 前後 検査データを日付で前後に移動します。
- ⑤ 検査データ追加 表示患者に新たな検査日を追加します。
- ⑥ 表示データ、1患者削除ボタン 表示されている検査データ、患者を削除できます。
- ⑦ 検査日 西暦:4桁または下2桁入力 月:2桁または1桁 日:2桁または1桁で登録できます。
- ⑧ 治療ステージ 初診時・基本治療終了時・SPT移行時・最新SPT時を登録します。
- ⑨ 医院用患者番号 院内で使用する患者番号や名前等を入力し患者確認に使用します。
最大20文字まで入力可能(全角半角入力可能 例:「123456 歯周太郎」)。
提出データには含まれません。
- ⑩ 症例番号 症例報告の印刷時に印刷されます。(未入力の場合は、患者番号を印刷)
- ⑪ 歯周ポケット(入力用セル) 1～16までの数値と出血、排膿の有無が入力可能です。
- ⑫ 歯の動揺度(入力用セル) 0～3までの数値が入力可能です。
- ⑬ 根分岐部病変(入力用セル) 病変なし、Ⅰ～Ⅲまでの数値が入力可能です。
- ⑭ プラーク付着(入力用セル) 三角のセルをクリックすることでプラークの有無を記録します。
4面すべての有無は⑮のデータ入力ボタンでも可能です。
- ⑮ 歯番表示 歯番を数字で示しMT・インプラント・ポンティックの状態を背景色で示します。
クリックすることでデータ入力カーソルが移動します。

⑯ データ入力ボタン 0から16 以上まで用意されています。また、プラーク4面の入力に使用します。

⑩～⑬の検査にあわせて、ボタンが有効／無効に変化します。

⑰ 出血・排膿操作ボタン

・「出血」ボタンをクリックするとカーソル位置の数値部分が出血あり(赤文字)になります。

もう一度「出血」ボタンをクリックすると出血なし(黒文字)になります。

・「出血一括」ボタンをクリックするとボタンが「一括選択中」になり、クリックした数値部分を出血あり(赤文字)と出血なし(黒文字)に指定できます。

歯番をクリックすると6点すべてを出血あり(赤文字)と出血なし(黒文字)に指定できます。

・「一括選択中」に変化したボタンをもう一度クリックすると「出血一括」に変わり、一括入力が無効になります。

・排膿も同一の操作ですが、排膿の場合は背景が変化し黄色になります。

⑱ 検査データクリア 該当検査箇所データをクリアします。

⑲ 歯の状態登録ボタン

MT 該当歯を欠損歯にします。選択部分の歯番が青く変化します。

インプラント 該当歯をインプラントにします。選択部分の歯番が黄色に変化します。

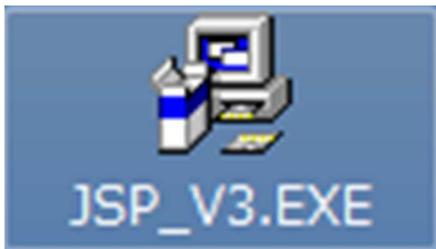
ポンティック 該当歯をポンティックにします。選択部分の歯番がピンク色に変化します。

⑳ 表示/印刷 表示・印刷の画面を表示します。

㉑ ファイル/ツール ファイル画面・ツール画面を表示します。

㉒ 保存・終了 保存:作業中のデータ保存を行います。 終了:本プログラムを終了します。

3. プログラムの起動



アイコンをダブルクリックします。



入力画面が表示されます。

4. 患者情報の登録

4-1. 患者番号選択

1 から 30 までの番号をプルダウンメニューより選択します。(99 はサンプルデータです)

患者番号	▼
検査日	1
	2
	3
PPC	4
B	5
P	6
	7

4-2. 検査日の入力

検査日（年月日）を入力します。（年は、西暦の 4 桁または下 2 桁／月日は、2 桁または 1 桁）

検査日	2016	01	22
-----	------	----	----

検査日に問題の可能性がある場合は、以下のように背景が赤になります。

検査日	2016	01	22
-----	------	----	----

4-3. 治療ステージ選択

治療ステージをプルダウンメニューより選択します。

治療ステージ	▼
黄背景=排	初診時
	基本治療終了時
	SPT移行時
	最新SPT時

4-4. 医院用患者番号入力

医院用患者番号・その他を入力します。最大 20 文字まで入力可能（全角半角入力可能）。

医院用患者番号	12345
---------	-------

4-5. 症例番号入力

症例番号を入力します。症例報告書の症例番号に印刷されます。
症例番号が空白の場合は、患者番号が症例報告書の症例番号として印刷されます。

症例番号	1
------	---

5. 検査データの入力

5-1. 歯の状態の設定方法

5-1-1. 歯の状態を指定する方法

1. 指定する歯の歯番号入力部位をクリックします。(何も指定されていない状態)
2. いずれかのボタンを押し、「はい」をクリックします。



3. 歯番号の背景色がボタンの色と同じになります。

5-1-2. 歯の状態を解除する方法

1. 解除する歯の歯番号をクリックします。(指定されている状態)
2. 「はい」をクリックします。
3. 歯番号の背景色が白色になります。

5-1-3. 歯の状態による検査可能／不可

- MT、ポンティック : 全検査入力不可
 インプラント : 根分岐部病変のみ入力不可

5-2. 検査値入力順序

PPD、動揺度、根分岐部病変の入力順序は、以下の通りです。

スタート位置 : ●



5-3. 検査値入力方法

5-3-1. PPD（ポケット測定）



各数字ボタンをクリックしてポケットの深さを入力します。

6-2. 検査値入力順序の順番に入力されます。

出血：入力部位の出血あり／なしを指定します。

出血あり:数字が赤色、出血なし:数字が黒色

排膿：入力部位の排膿あり／なしを指定します。

排膿あり:背景が黄色、排膿なし:背景が白色

出血一括：複数箇所の出血あり／なしを連続で指定します。

クリックする箇所で作動が異なります。

入力部位：その部位のあり／なしを切替え

歯番：その歯の6点のあり／なしを切替え

排膿一括：複数箇所の排膿あり／なしを連続で指定します。

クリックする箇所で作動が異なります。

入力部位：その部位のあり／なしを切替え

歯番：その歯の6点のあり／なしを切替え

検査データクリア：カーソル位置の部位を未検査にします。

5-3-2. 動揺度



各数字ボタンをクリックして動揺度を入力します。

6-2. 検査値入力順序の順番に入力されます。

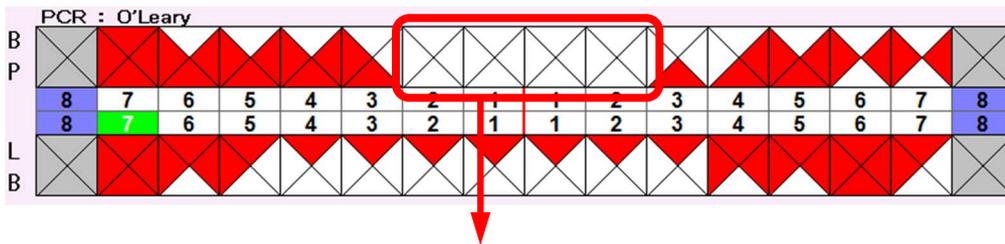
検査データクリア：カーソル位置の歯を未検査にします。

5-3-3. 根分岐部病変

1	2	3	} 各数字ボタンと病変なしをクリックして根分岐部病変を入力します。 6-2. 検査値入力順序の順番に入力されます。
0	病変なし		
全歯あり	全歯なし		
4面あり	4面なし		
出血	出血一括	検査データクリア	} 検査データクリア : カーソル位置の部位を未検査にします。
排膿	排膿一括		

5-3-4. PCR (プラーク付着)

プラーク付着部位を直接クリックして入力します。



歯の4面がすべて付着なしの場合は、「4面なし」ボタンで付着なしにしてください。
未検査(グレー表示)のままでは、プラーク付着率の計算が正しく表示されません。

全歯あり	全歯なし	} すべての部位、または、未検査の部位を あり/なし にします。
4面あり	4面なし	
出血	出血一括	} 検査データクリア : カーソル位置の歯の4面を未検査にします。
排膿	排膿一括	

5-4. キーボードを使用しての入力操作

ソフトウェア画面上のボタンのほかに、キーボードを使用した操作も可能です。

5-4-1. 共通操作

未検査（検査値クリア）：	（ピリオド）
前の部位：	（Back space）
または	を押しながら
または	を押しながら
次の部位：	（Enter）
または	を押しながら
または	を押しながら

5-4-2. PPD（ポケット測定）

深さの数値（0～9）：	～
深さの数値（10～16）：	を押したあとに ～
出血あり：	
出血なし：	
排膿あり：	を押したあとに
排膿なし：	を押したあとに

5-4-3. 動揺度

揺度の数値
（0～3）：

～	測定値の1～9		～ を押す
+ ～	測定値の10～16		を押して、 ～ を押す
	出血あり		を押す を押す
	出血なし		を押す
+	排膿あり		を押して、 を押す
+	排膿なし		を押して、 を押す

5-4-4. 根分岐部病変

根分岐部病変の数値（1～3）：

～

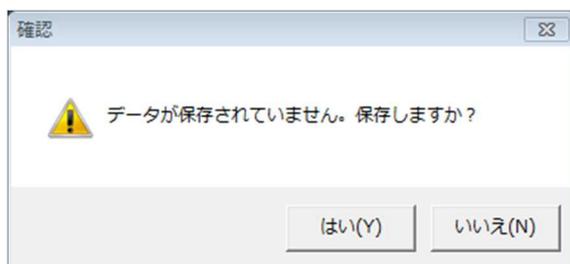
病変なし：

5-5. 入力データを保存する

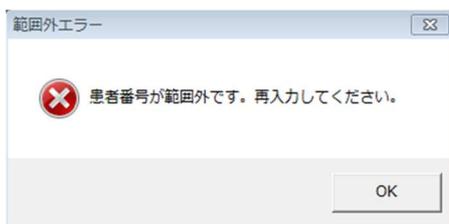
データ入力後、「保存」ボタンをクリックします。
確認メッセージ画面で「OK」ボタンをクリックします。



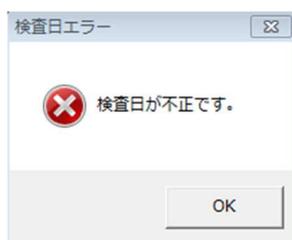
データ入力後、「保存」ボタンをクリックせずに、終了や画面の切り替えをしようとする
と保存確認メッセージ画面が表示されますので、「はい」ボタンで保存してください。



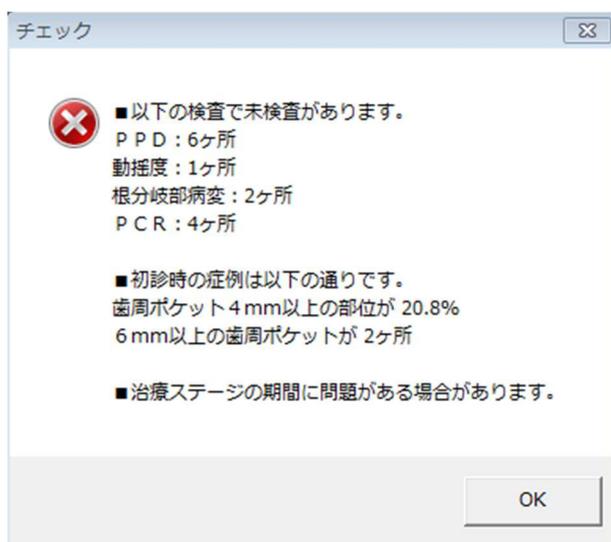
■保存時の警告／お知らせメッセージ



患者番号の入力で、範囲外の番号が
入力された場合に表示されます。



検査日の入力で、年月日の入力規則に
違反する場合に表示されます。



以下の内容をお知らせします。

- ・入力画面の未検査部位の部位数
- ・初診時の症例の状態
- ・検査日の問題有無

(SPT 移行時と最新 SPT 時)

表示された内容から検査日／検査データ
を見直してください。

5-6. 検査データ追加

新規の検査日のデータを入力する場合は、「検査データ追加」ボタンをクリックします。

検査データ追加

5-7. 表示データ削除

表示されている **1日分のデータ** を削除します。

表示されているデータを確認し、「表示データ削除」ボタンをクリックします。

確認メッセージ画面で「はい」ボタンをクリックします。

表示データ削除

5-8. 1患者削除

表示されている **患者番号のすべてのデータ** を削除します。

表示されている患者番号を確認し、「1患者削除」ボタンをクリックします。

確認メッセージ画面で「はい」ボタンをクリックします。

※その患者番号の表示されていない日付のデータも削除されますので、注意してください。

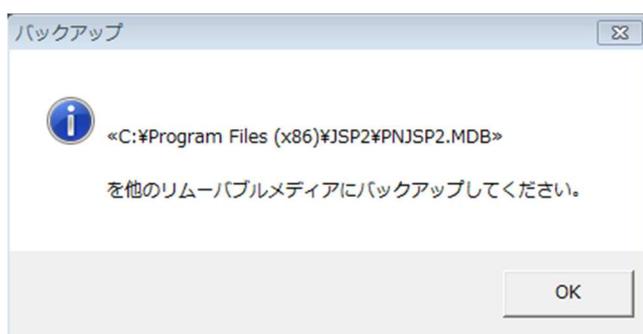
1患者削除

5-9. プログラムの終了

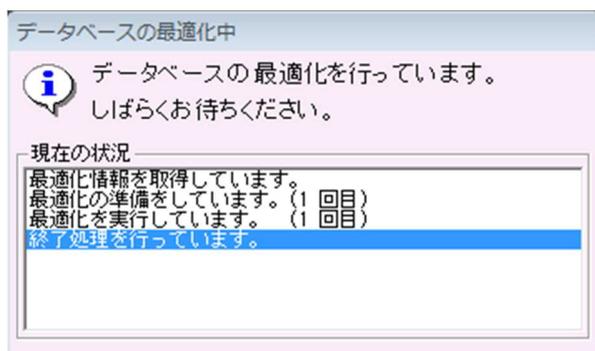
プログラムを終了するには、「終了」ボタンをクリックします。
データが保存されていない場合は、保存確認メッセージ画面が表示されます。



データファイル名が表示されます。別のメディアにバックアップすることをお勧めします。
「8-1. データのバックアップ」でのバックアップをお勧めします。



「OK」ボタンをクリックすると、最適化が実行されます。



6. チャート表示と印刷

検査データ入力画面で、「表示／印刷」ボタンをクリックすると、選択されている患者番号のチャート表示／印刷画面が表示されます。



6-1. チャート表示画面の構成

タブにて画面を切り替えます。(印刷の前に確認ができます。)

The screenshot shows the '表示／印刷' (Display/Print) window. It features a main chart area with multiple tabs and a sidebar on the right. The chart area includes a table for patient data, a legend for different time points, and several rows of dental charts showing PPD, BOP(+), and root caries data for different sides of the mouth (頬側, 上顎, 口蓋側, 舌側, 下顎, 頬側). The sidebar contains patient information (患者番号: 99, 症例番号: 1001), a list of registration dates and stages (登録済み一覧), and several printing buttons for different user roles (専門医, 認定医, 認定歯科衛生士) and an option to return to the input screen.

①	初診時・基本治療終了時	SPT移行時・最新SPT時	検査データ
⑦	検査日	総歯数	PPD総数
	2012/08/12	30歯	180
	2012/10/16	28歯	168
			BOP(+)
			140 (77.8%)
			7 (4.2%)
			PPD平均
			5.3mm
			2.6mm
			1-3mm
			26 (14.4%)
			4-6mm
			114 (63.9%)
			7mm以上
			40 (22.2%)
			0 (0.0%)

① 3画面切り替えタブ

初診時・基本治療終了時	根分岐部病変と歯の情報は初診時のデータ
SPT移行時・最新SPT時	根分岐部病変と歯の情報は最新SPT時のデータ
検査データ	登録済み一覧のすべての検査値を表示

② 患者番号(選択中の患者)／症例番号(指定されている場合は症例報告に印刷)

③ 登録済みの検査データの一覧(日付・治療ステージ)

④ 印刷ボタン(検査データ／チャート)

⑤ 入力画面に戻る

⑥ タブ別のチャート・検査データ

⑦ タブ別の集計結果

	検査日	総歯数	PPD総数	BOP(+)	PPD平均	1-3mm	4-6mm	7mm以上
初診時	2012/08/12	30歯	180	140 (77.8%)	5.3mm	26 (14.4%)	114 (63.3%)	40 (22.2%)
基本治療終了時	2012/10/16	28歯	168	7 (4.2%)	2.6mm	147 (87.5%)	21 (12.5%)	0 (0.0%)

PPD チャートの線の色、BOP (+) 出血ありの色と同じ

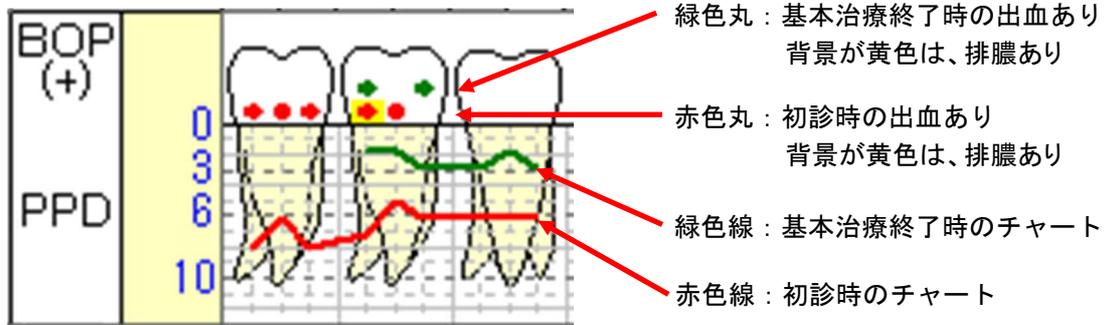
- ・ 検査日 検査年月日
- ・ 総歯数 検査日付の測定対象歯数
- ・ PPD総数 検査対象ポケット箇所総数
- ・ BOP (+) 検査時の出血ポケット数と割合
- ・ PD平均 全ポケット深さの平均値
- ・ 1-3mm ポケット深さが 1-3mm のポケット箇所数と割合
- ・ 4-6mm ポケット深さが 4-6mm のポケット箇所数と割合
- ・ 7mm以上 ポケット深さが 7mm以上 のポケット箇所数と割合

6-2. チャートの見方

結果はステージごとに色分けされています。

- 赤色：初診時
- 緑色：基本治療終了時
- 青色：SPT移行時
- 桃色：最新SPT時

<初診時・基本治療終了時の例>



6-3. チャート印刷

画面右の該当の印刷ボタンをクリックし印刷します。

6-4. 印刷見本

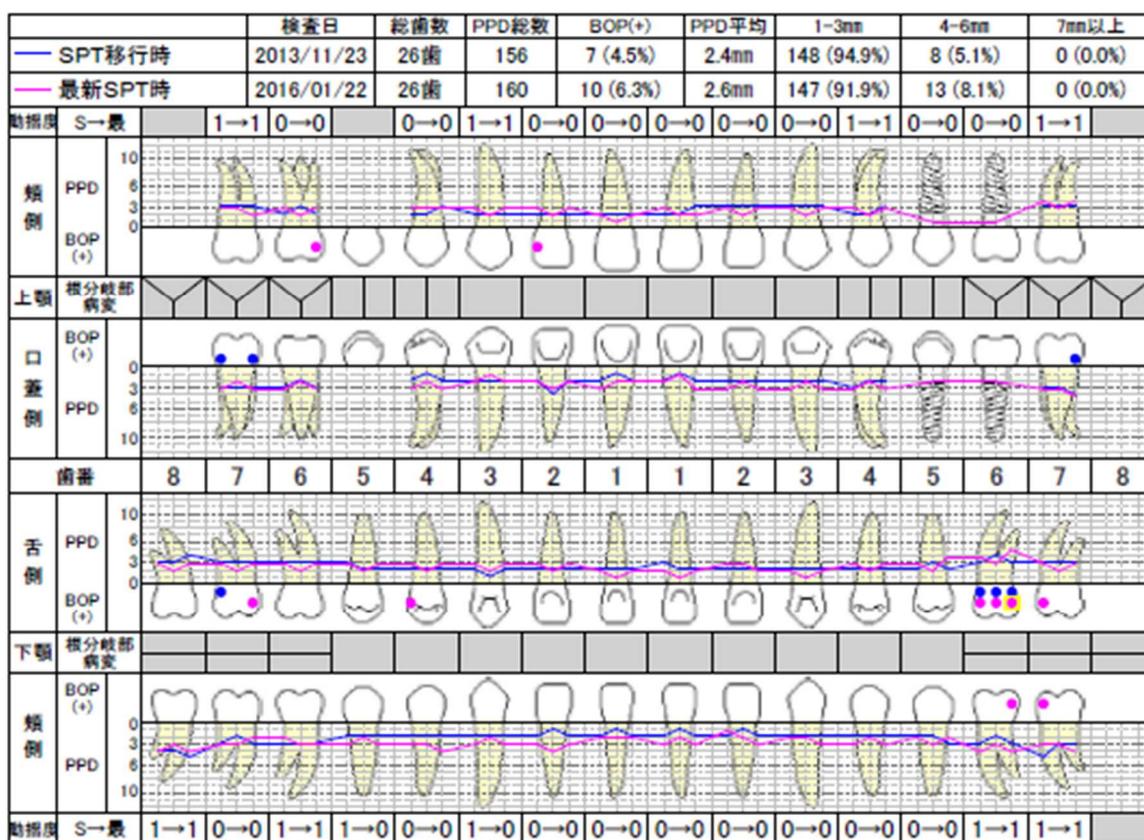
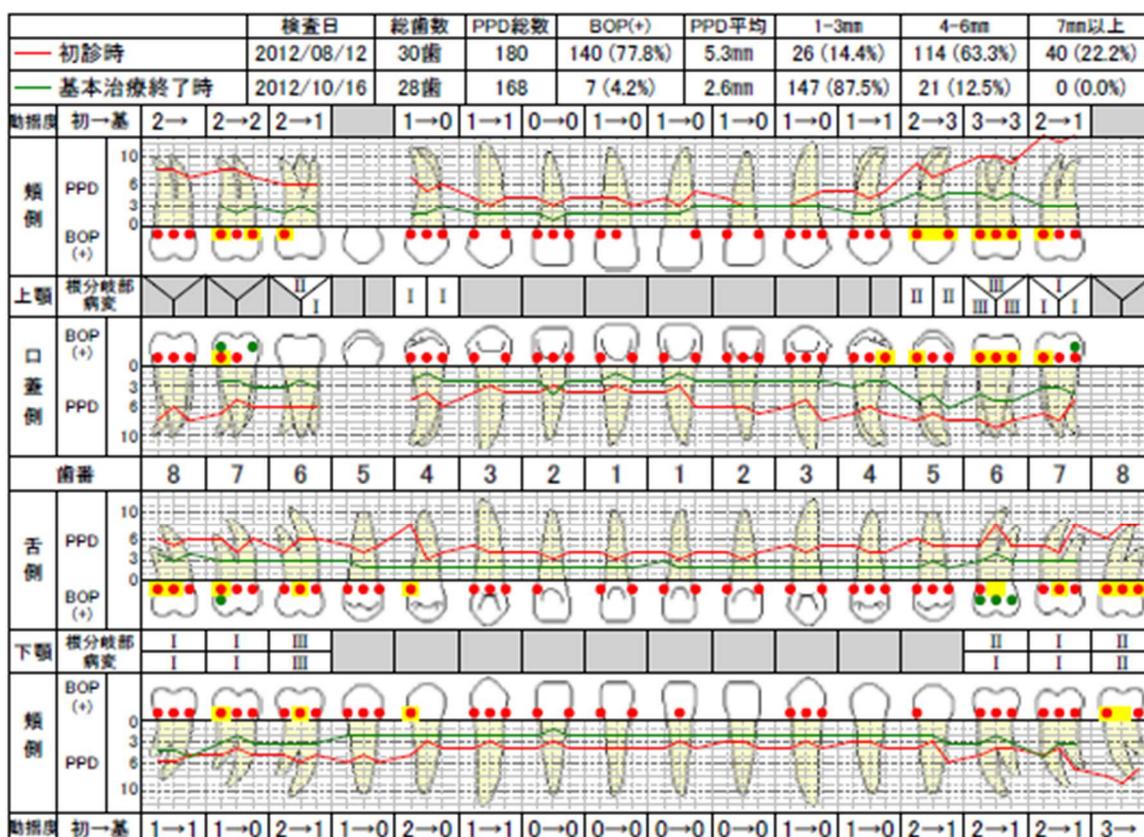
様式 8-1、様式 8-2 の印刷見本です。(認定歯科衛生士の場合は、様式 7-1、様式 7-2)

日本歯周病学会 専門医認定申請 症例報告 検査データ表														様式 8-1 症例番号 1001																											
PCR: O'Leary 動揺度: Miller 根分岐部病変: Lindhe & Nyman PPD 赤字=BOP(+) 黄背景=挿歯														ステージ	初診時																										
PCR	[Red X]													検査日	2012/08/12																										
動揺度	2	2	2		1	1	0	1	1	1	1	2	3	2	総歯数	30歯																									
根分岐部病変	[Diagram]													総インプラント歯数	0歯																										
PPD B	8	8	7	8	7	6	6	6	6	7	5	4	3	4	3	4	5	9	7	8	10	10	9	13	12	13	PPD平均	5.3mm(180点)													
PPD P	8	7	6		5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8										1-3mm	26 (14.4%)													
PPD L	8	5	6	6	4	6	4	6	5	4	5	8	3	4	5	4	4	3	4	4	3	4	3	4	5	4	5	5	8	5	5	8	8	8	8	4-6mm	114 (63.3%)				
PPD B	6	6	5	5	4	5	6	5	6	5	6	5	3	4	4	3	4	4	3	4	3	3	4	4	3	4	3	4	5	4	4	5	4	7	8	9	7	7mm以上	40 (22.2%)		
根分岐部病変	[Diagram]													BOP(+)	140 (77.8%)																										
動揺度	1	1	2	1	2	1	0	0	0	0	1	1	2	2	3																						PCR	84.7%			
PCR	[Red X]													検査日	2012/10/16																										
動揺度		2	1		0	1	0	0	0	0	0	1	3	3	1	総歯数	28歯																								
根分岐部病変	[Diagram]													総インプラント歯数	0歯																										
PPD B		3	2	3	2	3	2		2	2	3	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	3	5	4	5	5	4	5	3	3	3	3	PPD平均	2.6mm(168点)					
PPD P		2	2	3	2	3		2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	5	6	4	5	3	3	4		1-3mm	147 (87.5%)				
PPD L	4	3	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4-6mm	21 (12.5%)		
PPD B	4	4	5	3	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	7mm以上	0 (0.0%)		
根分岐部病変	[Diagram]													BOP(+)	7 (4.2%)																										
動揺度	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1																						PCR	19.8%			
PCR	[Red X]													検査日	2013/11/23																										
動揺度		1	0		0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	総歯数	26歯																							
根分岐部病変	[Diagram]													総インプラント歯数	2歯																										
PPD B		3	3	3	2	3	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	PPD平均	2.4mm(156点)		
PPD P		3	3	3	2	3		2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1-3mm	148 (94.9%)	
PPD L	3	3	4	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4-6mm	8 (5.1%)	
PPD B	4	4	5	3	2	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	7mm以上	0 (0.0%)	
根分岐部病変	[Diagram]													BOP(+)	7 (4.5%)																										
動揺度	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1																						PCR	19.8%		
PCR	[Red X]													検査日	2016/01/22																										
動揺度		1	0		0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	総歯数	26歯																							
根分岐部病変	[Diagram]													総インプラント歯数	2歯																										
PPD B		3	3	2	3	2		3	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	PPD平均	2.6mm(160点)	
PPD P		3	2	3	2	3		3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1-3mm	147 (91.9%)
PPD L	3	2	3	3	2	3	3	2	3	2	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4-6mm	13 (8.1%)
PPD B	4	3	4	3	3	2	3	3	2	3	3	3	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	7mm以上	0 (0.0%)
根分岐部病変	[Diagram]													BOP(+)	10 (6.3%)																										
動揺度	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1																							PCR	18.1%	

指導医氏名

印

JSP-DSC



*根分岐部病変 および 歯の情報表示は
上段:初診時、下段:最新SPT時 が優先されます。

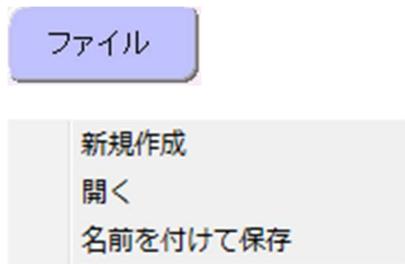
指導医氏名

印

7. ファイル

複数人数で使用される場合は、検査データファイルを別々にすることができます。

検査データ入力画面で、「ファイル」ボタンをクリックすると、検査データファイルの「新規作成」／「開く」／「名前を付けて保存」が利用できます。



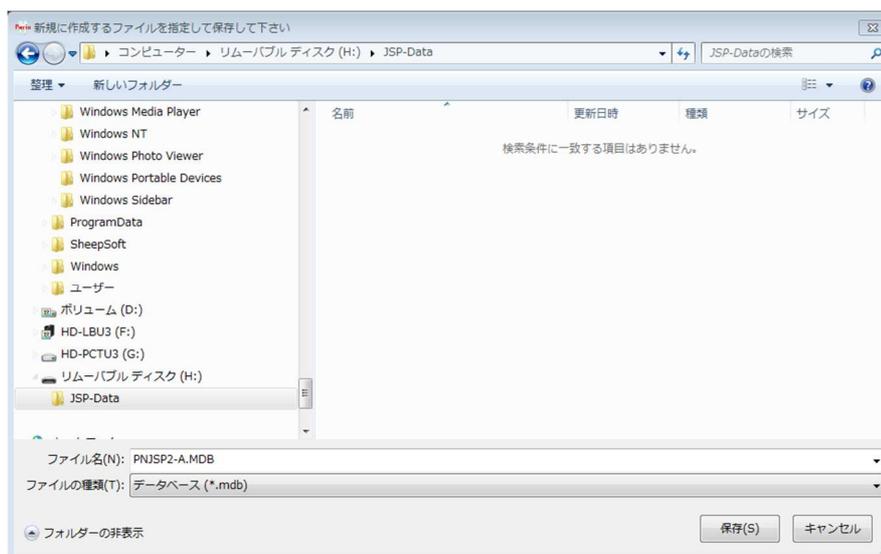
注意事項：使用中の検査データファイルが変更されますので、必ず確認して使用してください。

7-1. 新規作成

「新規作成」をクリックし、「フォルダ」と「ファイル名」を指定し保存します。

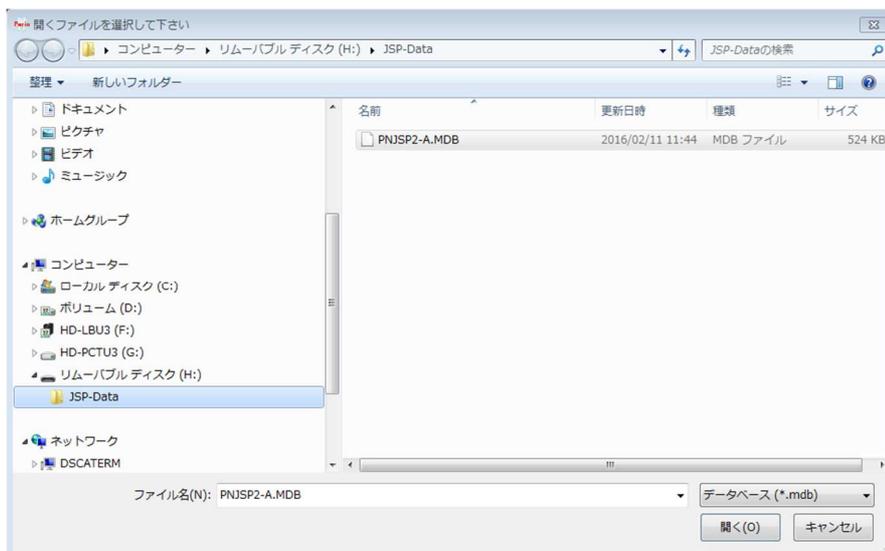
ファイル名の拡張子は、必ず、「MDB」にしてください。

サンプルデータ（患者番号：99）のみの検査データファイルができます。



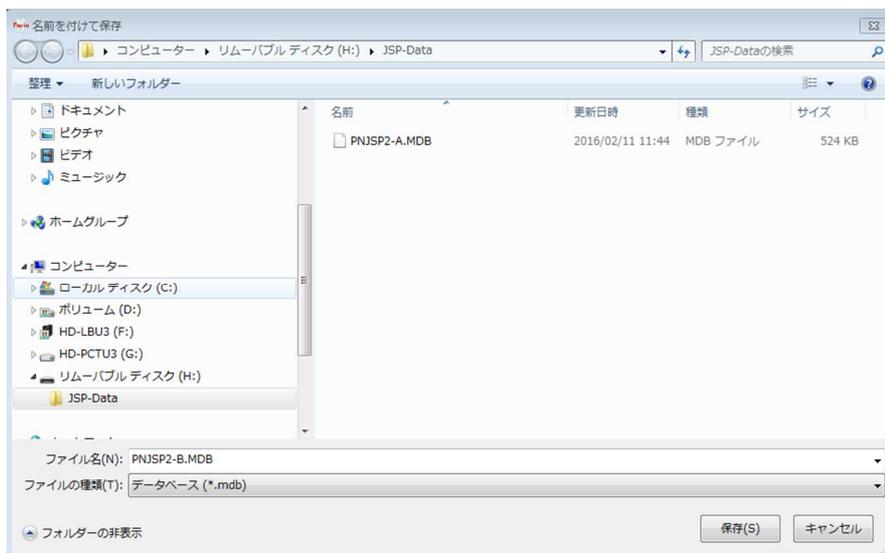
7-2. 開く

「開く」をクリックし、「フォルダ」と「ファイル名」を指定し開きます。



7-3. 名前を付けて保存

「名前を付けて保存」をクリックし、「フォルダ」と「ファイル名」を指定し保存します。
ファイル名の拡張子は、必ず、「MDB」にしてください。
使用中の検査データファイルを保存します。



8. ツール

検査データファイルのバックアップ／復元をします。

検査データ入力画面で、「ツール」ボタンをクリックすると、ツール画面が表示されます。



注意事項：使用中の検査データファイルが、対象となります。

「8. ファイル」と違って、使用中 DB は変更されません。

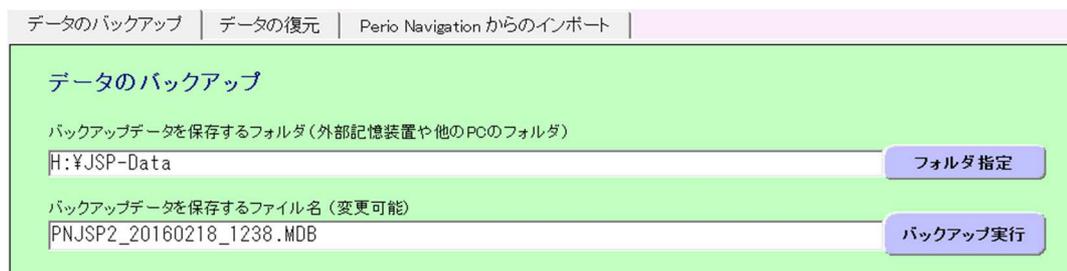


8-1. 検査データファイルのバックアップ

「データのバックアップ」タブをクリックし、「フォルダ」と「ファイル名」を指定します。

「バックアップ実行」をクリックしバックアップします。

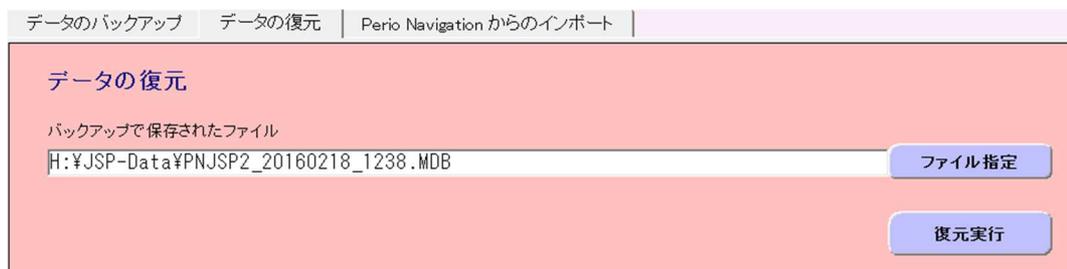
ファイル名の拡張子は、必ず、「MDB」にしてください。



8-2. 検査データファイルの復元

「データの復元」タブをクリックし、バックアップで保存したファイルを指定します。

「復元実行」をクリックしデータを復元します。



**※データの復元は、使用中の検査データファイルに上書きされます。
注意して実行してください。**

9. 旧バージョンからのデータ移行

JSP-Chart Ver.1 で使用中のデータを本バージョンで使用する場合は、データ移行作業が必要です。
JSP-Chart Ver.2 で使用中のデータは、自動的に引き継ぎ可能です。

JSP-Chart Ver.1 のデータ移行は、以下の方法で実行してください。

① JSP-Chart Ver.1 のデータファイルをコピーします。

コピー元ファイル c:\Program Files\JSP-GCDL\PnaviJSP.MDB

コピー先フォルダ 32ビット版 c:\Program Files\JSP2

64ビット版 c:\Program Files(x86)\JSP2

② コピー先フォルダ内の JSPConvert.exe をダブルクリックして起動してください。

③ コンバート元の患者番号をクリックし、コンバート先の患者番号をクリックします。

④ すべての患者番号を指定したら、「コンバート開始」をクリックします。

⑤ 数秒で完了します。

